

10301外衣下着製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労 働 者 規 模
1	2017	12	8~9	当社工場内において、裁断台の上で作業をしていた際に、117cmほど離れた別の裁断台にある道具を取るため、一旦裁断台から降りることなくそのまま飛び移ろうとしたが、足を滑らせてしまい転倒し裁断台からも落下して、胸部と踵部を強打し負傷した。	60	3	371	30 ~ 49
2	2017	11	13~ 14	工場内の作業台の上で、衿、裾のカット作業中、誤って手指皮膚欠損創をした。	29	8	364	10 ~ 29
3	2017	11	12~ 13	当工場リーダー室より昼休憩のため屋外へ出る際に、外階段（2段）の1段目（上から）で傘を取り、その後2段目の端に右足を着いて滑ってしまい、右足踝を負傷した。	66	1	413	100 ~ 299
4	2017	11	10~ 11	床へ置いてある製品を隣りの台へ移そうと、持ち上げて左の台へ置く時に腰へ痛みが出た。	32	19	921	1~ 9
5	2017	10	7~8	持ち場に行く途中挨拶しようとして立ち止まった瞬間、足を滑らせてて尻餅と同時に右手をついた。	62	2	417	100 ~ 299
6	2017	10	8~9	始業後、縫製作業場にて移動中に転倒し近くの荷台で歯を打ち衝撃で歯が欠け唇を切り、膝を打った。	63	2	417	10 ~ 29
			15~					10

7	2017	10	16	休憩の時間にトイレに行く際、廊下の敷居につまずいた。	72	2	417	～ 29
8	2017	8	16～ 17	縫製工場において、縫製資材を準備する工程で、大型ペーパーカッターでマジックテープを切っていた。カッターのレバーを上げてロックがしっかり掛かっていることを確認しないまま、次に切るマジックテープを左手でセットしていたとき、カッターの刃が下りてきて、人差し指・中指・薬指を切った。	23	8	363	10 ～ 29
9	2017	8	16～ 17	第二新工場1F、ATR200PN機：B-9号機付近で保全係の一人が生地運搬用のローラーコンベアのベルト修理を行っていた。その際プーリーからベルトがズレて行く事に気付き、コンベアを稼働したまま左手でベルトを押し位置修正を行ったところプーリーとローラーの間に手を巻き込まれた。	45	7	121	500 ～ 999
10	2017	7	15～16	弊社工場内において、製品の衣服の検針を検針機で行っていた際、衣服の一部が検針機のローラー部分に巻き込まれるのを防ぐとして、誤ってローラ部分に右手の指があたったのが負傷の原因である。	71	7	169	10 ～ 29
11	2017	7	9～10	作業中アイロンの重しが足に落ちて骨折した。	64	4	364	50 ～ 99
12	2017	6	13～ 14	社内にて、ミシンをかける作業中、商品を取るために立ち上がった際、誤ってそばにあった台車に足を引っ掛けて躓き、膝を強打してしまった。	71	2	362	10 ～ 29
13	2017	5	10～ 11	工場内の機械のコードに足を引っ掛け、左肩から転倒した。	56	2	417	300 ～ 499
14	2017	5	14～ 15	布を裁断しようとして左手で押さえていた為、左手の中指と薬指の指先を誤って切ってしまった。	46	8	364	50 ～ 99

15	2017	4	14~ 15	工場内裁断部門、延反台上にて延反終了後の、生地のパインホール部分を切り落とし作業中、進行方向より左手で生地と製図紙を押さえ、右手で手押し裁断機をコントロールして作業を行うところを、左手を逆手に持ち、安全バーより刃側（内側）を押さえて作業したことで事故が起きた。	52	8	169	30 ~ 49
16	2017	4	9~ 10	当社縫製工場の裁断場で反物を裁断中に、裁断機で左手の親指を切る。	68	8	169	1~ 9
17	2017	4	13~ 14	工場内で中間プレスの作業中、誤って右手の指5本をプレス機に挟んでしまった。	55	7	169	50 ~ 99
18	2017	4	11~ 12	2階縫製場でスラックスのダーツに芯を貼る作業をしている時に、芯をセットして自分の足でスイッチを踏むところを踏むのが早すぎて、誤って左手の人差し指と中指を挟んでしまった。	33	7	169	100 ~ 299
19	2017	3	12~13	会社内の納品作業場で製品（シャツ）のアイロンプレス作業中に、誤ってプレス機に手をはさみ火傷した。	55	11	391	50 ~ 99
20	2017	2	11~12	倒した木の枝を切っていると、枝に当たったチェーンソーの刃が跳ね返った。その跳ね返った刃が、右足脛の右側に当たり縦5cm、横1cm、深さ0.8mmに渡り裂傷し、大量出血をした。	44	8	136	50 ~ 99
21	2017	2	18~19	工場敷地内の山側の駐車場で帰宅しようとする自家用車に向かって歩いていたところ自家用車のドアの前で路面凍結のためスリップして転倒し右手首を骨折した。	58	2	417	50 ~ 99
22	2017	2	16~17	工場敷地内で産業廃棄物を入れるコンテナに脚立に上って産廃を積み込んでいた時、誤って落下し左骨盤を骨折した。高さ1m程の馬足場から転落。	55	1	411	50 ~ 99
23	2016	12	17~ 18	階段にて、帰宅しようとする階段を下りる時、階段が暗かったため躓いて、左足の甲を骨折。	49	19	921	30 ~

31	2016	7	12～ 13	工場2階トイレの前に設置していた大型扇風機の足に、休憩のため歩いて移動している際に、引っかかり転倒し骨折した。	66	2	417	50 ～ 99
32	2016	7	17～ 18	袖裏縫いのミシンの作業を終了し、ミシンをおこして掃除した後、元の状態に戻す時に誤って、ミシンとミシン台の間に左手中指をはさんでしまい、指を負傷した。	42	7	169	100 ～ 299
33	2016	6	11～ 12	加工補正の仕事場で仕上げのプレスを終わり手渡そうと上体だけを横にし渡した時、右足がすべり左はそのままでころび右股関節を脱臼した。	69	19	911	30 ～ 49
34	2016	6	22～ 23	工場のボイラー室側パッケージで被災者が作業員とパッケージのメガ測定及びファンベルトの点検中、次の点検予定機であるパッケージ2の準備の為、作業員がパッケージ1からはなれた際、被災者が1人でファンベルトの点検を実施しようと3本あるベルトのうち右端のベルトへ左手を掛けた際に巻きこまれプーリーに左手を挟まれ、人差指の骨折。	20	7	121	500 ～ 999
35	2016	5	8～9	工場内で、床に滑って、転んだため、右頬を強く床に打ちつけた。	60	2	417	50 ～ 99
36	2016	4	11～ 12	商品衣類を持って移動中、板台車につまずいて手をついて骨折した。	61	2	362	—
37	2016	4	9～ 10	縫製工場内で、ミシン交換のため、ミシンテーブルの上に上がり、天井コンセントにコードを差し込み、降りる際、片足を丸イス、もう片足をミシンテーブルに掛けたところ、バランスを崩し腰から落下し背骨を負傷した。	61	1	379	10 ～ 29
38	2016	3	17～ 18	工場内の高さ0.85mのアイロン台で被災者が作業終了時に台上の製品を持ち上げて移動させようとした際、製品の下に置いてあった重さ1.5kgの鉄製のおもしが製品と一緒に引きずられアイロン台から足元に落下したため右足先を負傷した。	47	4	521	10 ～ 29

39	2016	3	16～ 17	工場内3階縫製場において、担当部位の縫製が終了し、次の工程の係に届けるため縫製場内を徒歩で移動していたとき、両手に荷物を持っていたため足元の製品のダンボールに気づかず、左足が躓いて転倒した際に左肘を強く打ち、また左頬も近くのミシンの足にぶつけ受傷した。	67	2	416	30 ～ 49
40	2016	2	15～ 16	製品のジャージを袋に包み、針が入っているか検査する機械に両手で製品を持って行こうとしたところ、段差を踏み外し左足首をひねった。	44	19	417	10 ～ 29
41	2016	2	9～ 10	作業中床上の布を踏み足をすべらし、転倒し右足手首を骨折。	66	2	417	1～ 9
42	2016	2	13～ 14	工場敷地内を自転車で走行中、右折途中に、前方の道路中央に工事用鉄筋が置かれている事に気づき、急ブレーキを掛けたところバランスを崩し転倒。背中と膝を負傷した。	61	2	362	10 ～ 29
43	2016	2	14～ 15	敷地内にて工業用マシンにて製品を縫製中、マシンの作業中に誤って押さえと縫い台の間に左手人差し指が入ってしまい圧迫され受傷した。	52	7	169	10 ～ 29
44	2016	1	9～ 10	工場内において製品検査中に、製品が落ちたので拾おうとして右手を下に出したところ、検査補助台より握りバサミが落下し、右手の甲にハサミが刺さってけがをした。	34	4	364	30 ～ 49
45	2016	1	9～ 10	駐車場管理人ボックス内で業務に従事していた際に、指導員が巡回に来たため、応対しようとボックス外に出たところ、指導員とぶつかりそうになったため後ろに下がった。その際、ボックス脇の開閉ゲート柱の基礎部分に足を引っ掛け、バランスを崩し仰向けに転倒しそうになったので咄嗟に身を捻り、腰および両膝をコンクリート面で打撲した。	56	2	419	30 ～ 49
46	2015	12	16～ 17	右手に布地をもちながらの歩行中、足元にダンボールが有るのを気づかず、つまずき転んでしまい、右腕のひじを痛めた。	63	2	417	100 ～

									299
47	2015	12	12～ 13	仕事の整理をしている最中に、作業所の車庫にあるシャッターのヒモに右足をひっかけて、つまずいて転倒して左膝頭下を打撲した。	63	2	417		1～ 9
48	2015	10	9～ 10	縫製現場で夏セーラーの胸元のホックを付ける作業を行っていた。付ける位置を確認していた所、自動ミシンのスタートペダルに誤って足が当たってしまった。一度スタートすると自動ミシンの為止めることが出来ず、左手中指を負傷した。	53	8	169		50 ～ 99
49	2015	10	15～ 16	少し具合が悪いので、トイレに行って作業にもどり、再開したら急に具合が悪くなり気を失い、後方に倒れて頭部を打った。	56	2	416		30 ～ 49
50	2015	7	13～ 14	外注先へ内職品を届ける際、当日は雨で庭に水溜が有り、歩行中右足が滑り、仰向けに転倒し、腰を強打。	63	2	417		50 ～ 99
51	2015	6	11～ 12	材料置場にて台車に載せてある材料を移動させる時に台車が重く動かしにくかったので力を入れた時に台車が不安定になり台車が転倒し、材料の下敷きになった。	46	4	362		50 ～ 99
52	2015	3	11～ 12	作業中に裁断生地をカートンに入れる時に、カートンのひもに引っかかり、転んで右肩、右膝を負傷した。	69	2	362		50 ～ 99
53	2015	3	15～ 16	倉庫内自動包装機の上部確認のため脚立を使用。バランスを崩し落下。	30	1	413		10 ～ 29
54	2015	2	16～ 17	工場棟の入出庫ヤードでのフォークリフト作業中、搬入スペースを確認する為に外側からシャッターを開けた後、足を滑らせ落下した。	49	1	418		10 ～ 29
			14～	道路を走行中、ハンドルの操作を誤り、道路右側の民家の塀に					100

55	2015	2	15	ぶつかった。そのとき作動したエアバッグに胸を強く打ちつけ、胸部を負傷した。	54	17	231	～ 299
56	2015	1	17～ 18	事業所内の玄関を出てすぐの階段で、帰宅しようと駐車場へ向かった時、階段を踏みはずしてしまい右足首をひねってしまった。	33	2	413	50 ～ 99
57	2015	1	13～ 14	婦人服縫製工場の裁断作業場で、10cm×20cm四方の生地を正確裁断している時にバンドナイフで左手人差し指第二関節を負傷した。	43	8	169	1～ 9
58	2014	12	9～ 10	駐車場で巡回中に舗装の段差につまずき転倒、その際両手をついてかばったため負傷。	64	2	417	30 ～ 49
59	2014	12	15～ 16	作業員詰め所に於いて、換気扇を掃除する為、テーブル（120cm×90cm×60cm）の上にイス（40cm）を置いて、その上で掃除をしていた所体のバランスを失い、高さ1m位のところより飛び降り右足の踵を強く打って受傷しました。	54	1	379	10 ～ 29
60	2014	12	10～ 11	工場1Fの作業場で、紳士ナイロンコートの襟立て部分にドット釦をドット釦打ち機械で打っていたところ、右手がプレス部分から離れないうちに足踏みスイッチを誤って踏んでしまい、右手中指を損傷した。	64	7	169	10 ～ 29
61	2014	12	14～ 15	プリント機械の台から左足から右足と降りた時右膝内側の筋肉が切れたような音がして痛みがおこりました。	20	19	921	50 ～ 99
62	2014	11	13～ 14	工場内で、午後の作業開始のマシン点検時に、誤って手を滑らせて糸きり用の「メス」に左手人差し指が触れて受傷。	33	8	169	10 ～ 29
63	2014	11	17～ 18	2回の作業場より1回のトイレに下り2回に戻る際、階段の3～4段目より足を踏み外して転落。全身打撲・後頭部裂傷 1 1	64	1	413	10 ～

				針を縫う怪我をする。				29
64	2014	10	16～ 17	会社の玄関にて靴を履こうとした時、床で足を滑らせ転倒し右手首にひびが入った。	50	2	417	30 ～ 49
65	2014	10	13～ 14	染色工程で床掃除を行っていたところ、使用した洗剤によって滑って転倒し、その際左手から倒れ強打し左手首を骨折した。	56	2	416	100 ～ 299
66	2014	10	9～ 10	介護サービス利用者の自宅で透析を受けに行く利用者を送り出しのため車椅子に移乗させるとき、車椅子に走行補助の装置が付いていたので座面が高いこと及び利用者が身体に自由がきかないことから負担がかかり脊椎を骨折した。	61	19	911	1～ 9
67	2014	7	10～ 11	商品検査後、出荷の為のナイロンカバー袋を自動梱包機を使って商品にかぶせる作業中、本機上部から供給されるナイロン袋が降りてこなくなったため、電源を止めないでそのまま左手をかざして袋を強制的に下げようと袋を掴んだところ、誤ってカッター取付部に左手甲部分を挟まれ、裂傷を負った。	46	7	169	50 ～ 99
68	2014	6	9～ 10	縫製工場にて袖検査の作業中、マットを敷いてその上に椅子を置き、座って作業しようとしたところ、マットにつまづき転倒、手首を骨折した。	65	2	416	100 ～ 299
69	2014	5	18～ 19	作業終了後帰宅する際、社員玄関の玄関マットに躓き、転倒、右肩にショルダーバックを掛けていたため、左手左膝を強く打ち、口内も切った。	60	2	417	50 ～ 99
70	2014	3	10～ 11	裁断地を移動させる途中、裁断台の足元の鉄枠のネジにズボンの裾が引っ掛かり、左側を下にして転倒。その際に左側の太腿から腰のあたりも床に強打した。	57	2	391	10 ～ 29
71	2014	2	11～ 12	作業場において裁断機で生地を裁断中、生地を押さえていた左手人差指に裁断機の刃が当り、切創したもの。	66	8	169	10 ～

									29
72	2014	2	10～ 11	郵便局の玄関スロープが雪で凍結しており、左足が滑って転倒し、階段のコンクリート基礎部に右足が当たり骨折した。	56	2	417	100 ～ 299	
73	2014	2	11～ 12	会社で通路に紙が落ちていることに、気づかず右足で踏み、勢いで転び右足を骨折した。	37	2	417	100 ～ 299	
74	2014	2	12～ 13	昼休み中、トイレに行くため歩行中、畳の縁に足を引っ掛け転倒し、左腕を捻挫した。	56	2	418	10 ～ 29	
75	2014	1	3～4	工場内にて、メリヤス生地（巾70cm）を切断して生地を引き抜いた時、刃が右手人差指にあたり負傷した。	66	8	169	30 ～ 49	
76	2014	1	9～ 10	台車の上にあった生地の入っているコンテナ1個を持ち上げ移動する際、台車に右足が乗っかり台車が動いたため転倒し、右足の足首・甲を捻挫、負傷した。	48	2	362	50 ～ 99	
77	2013	12	16～ 17	作業現場内からトイレへ行こうと向かった際、足を滑らせ、転倒した。	61	2	417	30 ～ 49	
78	2013	12	12～ 13	事務所に戻った際、入口付近でゴミを拾ったところ、躓き、転倒し、手をつき、骨折した。	56	2	418	1～ 9	
79	2013	12	10～ 11	ミシンテーブルより品物を移動させる際、縫い糸が落ち、糸の巻いてある糸巻を踏み、転倒した。	54	2	529	10 ～ 29	
80	2013	12	17～ 18	玄関出口の階段を下りた際、凍結した路面に足を滑らせ、転倒した。	49	2	719	50 ～ 99	

81	2013	11	11～ 12	車から裁断機を降ろし、倉庫に搬入する際、裁断機に付いたスライドするおもりが動き、手を挟んだ。	61	7	612	1～ 9
82	2013	11	13～ 14	裁断刃の変形加工中、刃を直接手で変形させた際、体のバランスを崩し、手を刃に押し込んだ。	64	8	379	100 ～ 299
83	2013	11	9～ 10	蒸気肩パット成型機にて、肩パット成型作業中、降下してきた蒸気釜に挟まり、手甲の部分を熱傷した。	54	11	169	50 ～ 99
84	2013	11	9～ 10	検査棒取り替え中、検査棒格納キャリアより引き抜いた際、手を滑らせ、足薬指、小指部分に落下させた。	34	4	379	50 ～ 99
85	2013	10	8～9	工場内2階の洗面所を清掃中、トイレ用スリッパの破損の為、躓き、転倒した。	60	2	417	10 ～ 29
86	2013	10	13～ 14	生地のカット作業中、誤って刃に接触した。	39	8	169	50 ～ 99
87	2013	8	8～9	ゴミ袋を外のゴミ置場に運び出そうと、後ろ向きにゴミ袋を引っ張ったところ、足をひねり、反動で転倒した。	58	2	611	30 ～ 49
88	2013	8	8～9	靴を脱ぎ、下駄箱に入れ、上履きを履こうとしたところ、片足になりバランスを崩し、足をひねり、転倒。足首を粉碎骨折した。	58	2	921	300 ～ 499
89	2013	8	17～ 18	社内1階リフトのシャッターを上げた際、強く押し上げた為、手内側の筋を痛めた。	37	19	921	10 ～ 29
			14～	仕掛品置場から搬送作業中、手から滑り落ちた仕掛品が足に落				50

90	2013	8	15	下した。	58	2	417	～ 99
91	2013	7	20～ 21	成形（アイロン）のためのプレス機を操作中、プレス機とスタッカー（常温調整機）の間に手を入れ、挟まれ、すぐに電源を落としたが火傷を負った。	36	7	169	50 ～ 99
92	2013	7	10～ 11	カゴ型の台車を引張っている際、段差に台車が引っ掛かり、被災者の方へ倒れ、膝の上に落下した。	42	7	611	50 ～ 99
93	2013	6	6～7	計量場に向かったところ、計量場の前の床が濡れており足を滑らせた。受身をとろうと床に手をついたが、勢いのほうが強かったため、手首を強打し、骨折した。	54	2	417	100 ～ 299
94	2013	6	9～ 10	ミシンで縫製作業中、前かがみで作業を行っていた為、腰を痛めた。	57	19	169	30 ～ 49
95	2013	6	12～ 13	食堂から工場へ移動する際、歩いていたところ、躓き、転倒した。	44	2	921	100 ～ 299
96	2013	5	5～6	ズボンの脇を自動プレス機でプレス中、指を挟み、熱傷した。	22	7	169	500 ～ 999
97	2013	5	12～ 13	記載無し	61	2	418	100 ～ 299
98	2013	5	10～ 11	縫製作業中、ミシンの調子を確認するため、本体を開けていたところ、ミシン本体に指を挟み、手の親指の爪が剥がれ、指先が潰れた。	21	7	169	10 ～ 29
			19～	ミシンを用いて、ブラウスの縫製作業中、切れた糸を引っ張っ				10

99	2013	5	20	て元に戻そうとした際、誤って足のペダルを踏んだ為、針が動き、布を押さえていた人差指の爪に刺さった。	33	8	169	～ 29
100	2013	4	14～ 15	被災者は、原反を自動裁断し、パーツを回収する作業に従事。、自動裁断中、作業台に手をついて待っていたところ、裁断が終了し、作業台が動いたため、手がテーブルと作業台の間に挟まれた。	22	7	224	300 ～ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。